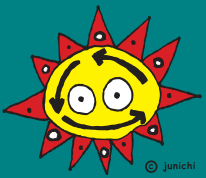


参加してみませんか？



エコニコ 学習会 ガイドブック



環境に配慮した商品って
どんなもの？

商品は誰が作って
どんなふうに使われてくるの？

Vegetable counter

スーパーから出るごみは
どうなるの？

スーパーではどんなところに
電気を使っているんだろう？

身体の不自由な人が
買物しやすい工夫って
どんなこと？

身近なスーパーマーケットで環境活動や 社会のしくみを楽しく学びます

いつもなにげなく買い物をしているスーパーマーケットには、環境問題や社会のしくみを学習する素材がたくさんあります。西友のお店では、子ども向けの学習会を開催しています。店長やお店のスタッフがお店を案内しながら、環境や福祉、食の安全への取り組みなどを紹介します。6年間で3万2000人が参加し、学校の授業でも活用されている、「エコ・ニコ学習会」。親子で、友達どうしで、クラスみんなで——あなたも参加してみませんか。

スーパーマーケットという身近な場所を活用した体験学習プログラム

「エコ・ニコ学習会」は、全国400のお店を使った体験学習プログラム。小学校4年生～6年生の子ども達を対象に、10～20名程度のグループで実施しています。親子やクラス単位でも参加できます。学習内容は、スーパーマーケットのしくみや、環境問題・福祉・食の安全への取り組みなど。具体的な内容や構成は、参加者の希望に応じて個別に作り上げています。学習会では、お店のスタッフが売り場や、普段は見ることのできない売り場の裏側をご案内します。

環境・福祉・食の問題について考えるきっかけづくりに最適

環境や福祉、食の安全なんて、自分とは関係のない難しい話—中には、そんなふうにいる子ども達もいるかもしれません。「エコ・ニコ学習会」は、私たちの生活と深く関わりあっているこれらの問題に関心を持つきっかけづくりに最適です。それは、いつも買い物をしている身近なお店で、実際の取り組みを見て、日頃顔を合わせているお店のスタッフから話を聞いて、商品などに触れて学ぶことを通して、身近な問題としてとらえることができるからです。

特 徴

メリット

- | | | |
|---|---|--|
| 1. 生活に密着したスーパーマーケットで、環境・福祉・食の安全などについて、見て、聞いて、触れて学ぶことができます | ➡ | 環境・福祉・食の安全などに興味を持つきっかけを与え、家庭や地域といった身近な場所での実践に結び付けます |
| 2. 「関心を持つ」→「理解する」→「行動する」というステップごとに学習を進めます | ➡ | 子どもの関心・理解の段階に応じたプログラムを提供します |
| 3. 学習テーマや学習会の構成は、参加者の要望に合わせて個別に組み立てます | ➡ | ご家庭や学校の事情、ご要望に対応し、柔軟にプログラムを組むことができます |
| 4. 小学校の「総合的な学習の時間」に活用できます | ➡ | すでに多くの学校が取り入れ、実績のあるプログラムですので、環境学習や社会科学学習のニーズにこたえることができます |



スーパーマーケットは、暮らしと社会をつなぐ「気づきの場」

子ども達にとってスーパーマーケットは、食べ物、学用品からおもちゃ、洋服まで、自分たちの暮らしを支える「社会」と出会う大切な場所といえます。「エコ・ニコ学習会」で、暮らしと社会のつながりや、社会の新しい動きを知ること、自分や家族のライフスタイルの重要性が鮮明になるに違いありません。

知識の充実だけでなく実践につなぐ学びが求められる今、学校の枠を超えた体験的、自主的な学習

プログラムが重要となっています。時間をかけて遠くに行くだけでなく、それぞれの地域に根ざして取り組むことで、継続的なプログラムづくりも可能となり、生徒ひとり一人の暮らしの見直しや実践行動につながる成果も期待できます。地域企業と学校、家庭が連携して子ども達の未来とまちの未来を考える。あたたかい心の通った「快適環境のまちづくり」に必ずやつながるに違いありません。



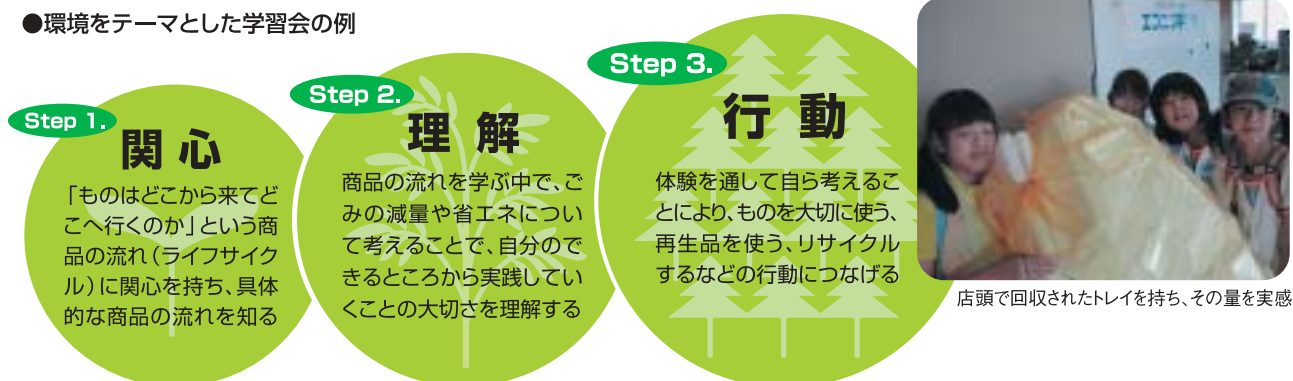
環境カウンセラー・ジャーナリスト

崎田 裕子

「関心」→「理解」→「行動」というステップを踏んで学びます

子どもは、「関心を持つ（親しむ・気づく）」→「理解する（知る・考える）」→「行動する（実践する・守る）」という段階を踏んで、ものごとを学んでいきます。「エコ・ニコ学習会」は、こうした子どもの学習過程にあわせてプログラムを組み立てています。段階ごとに目標を立てて学ぶのでわかりやすい、と参加者からも好評です。

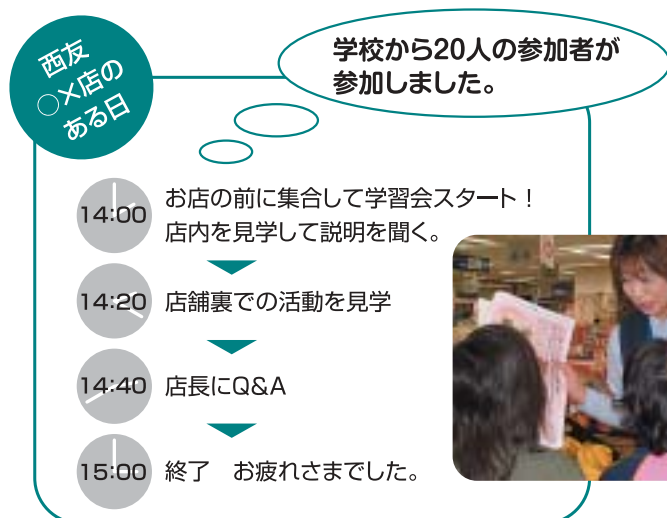
●環境をテーマとした学習会の例



参加者のご要望に対応し、柔軟にプログラムを組み立てます

「エコ・ニコ学習会」は、環境問題（環境に配慮した製品の開発・販売、ごみの減量・リサイクル、省エネなど）だけでなく、福祉の問題や食の安全など幅広いテーマに対応しています。たとえば福祉については、車いすのお客様がお店を利用しやすいようにレジの通路を広くする、盲導犬などを連れてお店に入れることを示すマークを表示する、などの「ノーマライゼーション」の取り組みを、食の安全については、お店に並ぶ食品は、誰がどこで、どんなふうにて育て、どのように運ばれてきたかを示す「トレーサビリティ（生産履歴の追跡）」などについて学びます。ひとつのテーマに限定せず、複数のテーマについて総合的に学習することもできます。

通常は小学校4年生～6年生を対象に実施していますが、ご要望があれば、小学校低学年～大人まで、柔軟に対応します。また、通常の学習会は一回完結ですが、ご要望があれば、何回かに分けて行うこともできます。お店に来ていただくことが難しい場合や、学習会実施後さらに詳しい話が聞きたい場合などは、お店のスタッフが学校などに出向き、お話しさせていただく場合もあります。





「総合的な学習の時間」での利用が増えています

「エコ・ニコ学習会」は、多くの学校で授業の一環として活用されています。特に、2002年に、子ども達が自ら体験し、考える力や生きる力を身につけるための「総合的な学習の時間」が本格的に始まってからは、この一環として学習会に参加する学校が増えてきました。環境問題などに興味を持つきっかけ作りとして利用する例が多いようです。

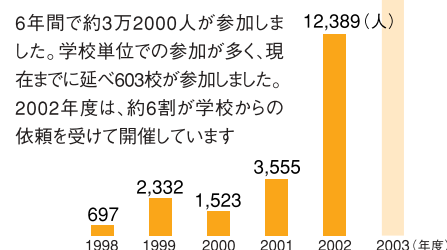
職業体験学習としても参加ができます

職業体験学習の中で「エコ・ニコ学習会」を実施するケースが増えています。身近なスーパーマーケットは職場体験の場として有効で、地域社会への理解にも役立ちます。お店で取り組む環境活動を仕事の中で教わることで、環境への意識が高まります。

NPOとも連携して学校での環境学習に協力しています

NPOとの連携も進めています。NPO法人・環境学習研究会（東京都中央区）や、「Kids ISOプログラム」を世界に向けて発信しているNPO法人・国際芸術協力機構（東京都渋谷区）とパートナーシップを組み、「エコ・ニコ学習会」の開催や学校への講師の派遣などを行っています。

●「エコ・ニコ学習会」の参加人数



「エコ・ニコ学習会」は学校の授業に効果的に活用されています

NPO法人 環境学習研究会
谷村 春樹



環境学習研究会は、学校での環境学習を支援するNPOです。自ら学校に出向き、先生と連携して環境学習を行うほか、学校からの要望を受け、企業と学校を橋渡しする活動も行っています。近年、地域の企業や住民に学校の授業に参加してほしいというニーズは増えており、当会でも多くの学校に「エコ・ニコ学習会」をご紹介してきました。

それでは、「エコ・ニコ学習会」は、どのように学校のカリキュラムに組み込めるのでしょうか。杉並区のある小学校では、5年生の授業に「エコ・ニコ学習会」を取り入れました。「環境と買い物について考えよう—ぼくらの買い物大作戦」という単元です。環境と消費の関連に気づき、消費者として今後自分がどうあるべきかを考えることがねらいです。

この例では、学校側が考えた授業案の流れの中に、「エコ・ニコ学習会」が組み込まれています。環境学習は基本的に、導入→

●杉並区の小学校での授業例

- ① 買い物をし、自分の消費者としての姿勢に目を向ける
品物を選ぶ基準とその理由を話し合う、環境に配慮した商品について調べる
- ② 「エコ・ニコ学習会」に参加する
環境に配慮した商品について説明を受けたり触れたりして、それらの存在や価値を知る。携わる人達の努力や工夫、悩みなどにも目を向ける
- ③ 保護者など身近な消費者にインタビューする
一般の消費者の環境に配慮した商品への意識を調査する
- ④ 経験したことを校内や地域に発信する

課題決定→課題追求→まとめ・発信という順で行われます。この例では、課題追求の段階に「エコ・ニコ学習会」を取り入れました。

「エコ・ニコ学習会」は、子ども達が実体験を通して環境問題を身近にとらえ、自分の行動に結びつけるきっかけとなります。どんなに環境学習をしても、知識だけでいるうちは、自分の問題として考えられませんか、実践につながりません。実際に社会で取り組んでいる企業の人やいろいろな大人が、目の前に現れて話をしたり、外へ出て体験学習をすることで、子ども達は環境を身近な問題としてとらえることができるのです。

学習会をきっかけに、子ども達が活動を始めています

環境問題に取り組む大切さを訴え続けていきたい

松村 実季 さん
(山口県・小学校5年生)



市長さんに分別できるごみ箱の設置を提案

「エコ・ニコ学習会」に参加したのをきっかけに、参加者で「こどもエコクラブ」を立ち上げました。「エコ・ニコ学習会inスウェーデン」にも参加し、帰国後にエコクラブで発表しました。マスコミに働きかけて環境問題に取り組む重要性を訴えたり、市長に会って、県内の公園に分別できるごみ箱を置くよう提案するなど地域を変えようと一生懸命です。

「10才の私が今、出来る事には限りがあります。でも、本当に必要な物だけをかう、買い物ぶくろを持って買い物に行く、といった事は今すぐ出来ます。そしてその輪が広がってほしいと思います。」
(「エコ・ニコ学習会inスウェーデン」の感想文より)

地球を守るためにできるかぎりのことをしたい

青山 恭隼 くん
(東京都・小学校6年生)



青山くんの通う小学校で、西友のスタッフが授業を行いました。授業を受けた子ども達は、環境の展示会で「よいスーパー・悪いスーパー」という劇を上演しました。これをきっかけに環境に興味を持ち、「エコ・ニコ学習会inスウェーデン」に参加。帰国後は、地域の環境イベントでボランティアをしたり、環境省に手紙を書くなど積極的に活動しています。



環境のイベントでボランティアをしました

「一部の人のせいでつみのない人間や動物が苦しんで死んでいる。こんなのをゆるしていいのか。問題をかいけつしてからこそ、便利なくらしをできるけんりをもらえるのではないか。」
(「エコ・ニコ学習会inスウェーデン」の感想文より)

世界中の人がグリーンコンシューマーになってほしい

崎津 舞香 さん
(兵庫県・小学校4年生)



「環境日記」の勉強会をしています

環境への取り組みがさかんな小学校に通い、環境について調べたことや実施したことを記す「環境日記」をつきました。自分たちでも「エコ救急隊」という活動グループを作り、川の掃除やごみ拾いを行っています。環境に対する知識を深めたいと「エコ・ニコ学習会」に参加。「エコ・ニコ学習会inスウェーデン」にも参加しました。

「グリーンコンシューマーが増えると、人間も動物も植物も生き生きとして、地球全体が明るく、美しく、ピカピカにかがやくと思います。」
(「エコ・ニコ学習会inスウェーデン」への応募作文より)

小さなことでもいいからやってみようと呼びかけたい

池崎 慎之介 くん
(福岡県・小学校4年生)



「エコ・ニコ学習会inスウェーデン」に参加。帰国後、家族の「環境担当」になりました。毎週土曜日に、近所のスーパーマーケットに行って回収されたペットボトルのラベルをはがしたり、自治体やスーパーマーケットの担当者に話を聞くなど、地域でも熱心に活動しています。



店頭でリサイクルを呼びかけています

「世界中の人に、地きゅうをきれいにするために、小さなことでもいいから自分にできることをやってみようと呼びかけたいと思います。」
(「エコ・ニコ学習会inスウェーデン」への応募作文より)



今までにも国内外でさまざまな 環境学習プログラムを展開してきました



お店に並ぶ食品の産地に行こう ―「生産地エコ・ニコ学習会」

子ども達のひろがる興味・関心にこたえて、お店で行っている「エコ・ニコ学習会」のフィールドも生産地までひろげました。生産地学習会では、お店に並ぶ農産物などを作っている産地を見学しました。子ども達は、毎日食べている食べ物のおいしさの秘密や、安全・安心な食品を食卓に届けるための生産地の方々の努力を知ることができました。



しいたけの収穫を体験



「合鴨農法」の説明を受ける

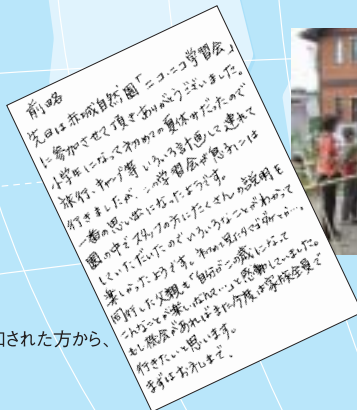


田んぼの中の合鴨を見学

写真：群馬県「JA甘楽富岡」にて（2002年6月）
福岡県「中村農園」にて（2003年8月）

豊かな自然を体験しよう ―「森のエコ・ニコ学習会」

日本には、豊かな自然がたくさんあります。そこで、自然を教室に、子ども達の感性に働きかける環境学習会として、「森のエコ・ニコ学習会」を実施しました。自然の中で季節を感じながら、みんなで力を合わせてモノづくりや野外料理、森の探検などを行います。2003年度は、森と川の豊かな自然に囲まれた、岐阜県大野郡清見村で「親子こどもモノづくりキャンプ」を実施。木を使って小物を作るなど、自然を体感する3日間を過ごしました。



「森のエコ・ニコ学習会」に参加された方から、
お便りをいただきました



自作のお椀で流しそうめん



木々の間にいる動物を観察

写真：岐阜県「森の自然学校」にて（2003年8月）

「エコ・ニコ学習会」はお客様のご要望にお応えしていきます。

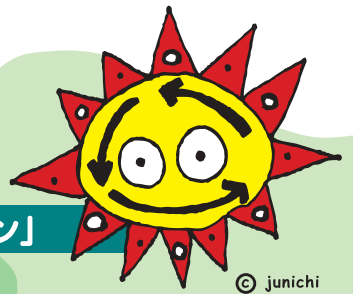
お客様にとって身近なスーパーマーケットが、地域の皆様にどんな社会貢献ができるかを真剣に議論し生まれたのが、私たちの「エコ・ニコ学習会」です。スーパーマーケットには、地域に身近なことから地球規模の環境問題まで、社会環境問題を考えるための素材がたくさんそろっています。お店の中を見学することで環境問題に興味を持ち始めたり、毎日の生活の中で環境への取り組みを始めるきっかけにな

ってくれたらと考えています。「エコ・ニコ学習会」は、全国400店舗のお店で実施しており、参加されるお客様も親子であったり、学校のクラスであったりとさまざまです。お店はお客様の参加の目的に合わせて見学コースを設定したり、楽しく学習してもらおうとクイズ形式で進めたり、お客様のご要望にお応えしています。お客様に喜んでいただけるよう、私たちは今後もいろいろな工夫をしていきます。



株式会社 西友
CSR推進室 社会環境グループ

小畑 絵美



海外に飛び出し、地球規模で考えて学ぼう ―「エコ・ニコ学習会inスウェーデン」

作文と面接で全国から選ばれた子ども達が、環境や社会福祉先進国であるスウェーデンを訪問しました。ヨット体験や森の散策などを通じて、自然と共生するスウェーデンの生活を体験。リサイクル施設を見学したり、市庁舎で環境政策について説明を受けるなど、現在行われている取り組みについても学びました。また、現地の小学校で授業に参加したりホームステイをするなど、交流も深めました。



写真:「エコ・ニコ学習会 in スウェーデン2003」(2003年8月)

子ども達の声を世界に届けよう ―「エコ・ニコサミット」

全国の子ども達が、自分達が生きる未来の地球のために、いま何をしなければならないかを話し合うサミットを全国で開催しています。2003年度は、東京・青山の国連大学国際会議場で、地域代表の子ども達や「エコ・ニコ学習会inスウェーデン」に参加した子ども達をパネリストに、地球環境について身近な視点から討議するパネルディスカッションを実施。子ども達の決意をメッセージにして掲げ、世界に向けて発信しました。



「エコ・ニコ学習会 in スウェーデン」に参加した子ども達が体験を発表



地域で環境問題に取り組む子ども達が全国から参加



環境への思いをつづった緑の葉で地球儀を埋めつくす



討議の内容を子ども達が決意表明にまとめて発表

写真:「エコ・ニコサミット2002」(2002年10月) 「エコ・ニコサミット2003」(2003年10月)

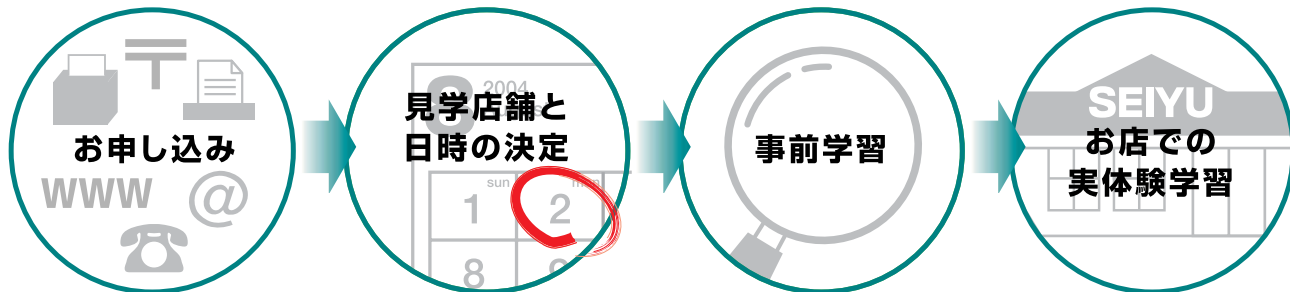
店舗エコニコ学習会のお申し込み方法

R100



このパンフレットは、古紙配合率100%の再生紙、環境に配慮した「植物性大豆油インキ」を使用して印刷しています。

●お申し込みから当日まで



下記のいずれかの方法でお申し込みください

ご希望に応じた見学店舗と日時をお知らせします

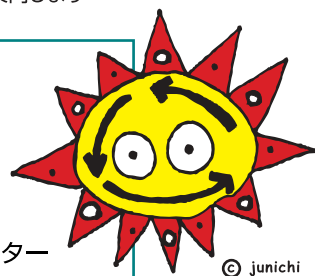
学習会の効果を高めるため、各自で事前学習をしてください

当日はお店のスタッフがご案内します

●参加対象：小学校4・5・6年生のお子様を対象としていますが、それ以外の方でもご参加いただけます。10～20名程度のグループで実施しています。親子やクラス単位でも参加できます。

●募集期間：随時

●お申し込み方法：左下にあるお申し込み用紙に必要事項をご記入の上、お店のサービスカウンターにお持ちいただくか、郵送またはFAXでエコ・ニコ学習会事務局にご送付ください。お電話、E-mail、西友ホームページでも受け付けています。



© junichi

店舗エコ・ニコ学習会

お申し込み用紙

株式会社 西友 社会環境グループ内 エコ・ニコ学習会事務局
TEL : 03-3598-7707 Fax : 03-3598-7740
E-mail : eco@seiyu.co.jp

申し込み者（ふりがな）	
住所 〒	
学校名 _____ 学校	
（ 子ども _____ 大人 _____ 計 _____ ） 年生 名 名 名	
電話	FAX
E-mail	

希望店舗名
希望開始日時

特記事項

いずれかの方法でお申し込み下さい

- ① お店のサービスカウンターに持参
- ② 郵送
〒115-0045 東京都北区赤羽2-1-1
(株) 西友 社会環境グループ内 エコ・ニコ学習会事務局
- ③ FAX
03-3598-7740
- ④ 電話
03-3598-7707 (月曜～金曜 10:00～17:00)
- ⑤ E-mail
eco@seiyu.co.jp
- ⑥ ホームページ
http://www.seiyu.co.jp/eco/child/

●お問い合わせ

(株) 西友 社会環境グループ内 エコ・ニコ学習会事務局
〒115-0045 東京都北区赤羽2-1-1
Tel: 03-3598-7707 (月曜～金曜 10:00～17:00) Fax: 03-3598-7740
E-mail : eco@seiyu.co.jp



この取り組みは、(株) 西友、(株) 九州西友、(株) 北海道西友、(株) エス・エス・ブイ、(株) サニー、(株) 東北西友の各店で実施しています。